

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州まちづくり応援団（株）
会社概要	会社の事業概要	①「中心市街地活性化事業」の推進 ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
	資本金額	32,000 千円
	本市の出資額	1,000 千円
	本市の出資割合	3.125 %
	従業員数	5 人
営業報告の要点		<p>中心市街地の賑わい創出のため、次の活動を行った。</p> <p>1 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 共通駐車券事業は、予定どおり実施した。契約駐車場数、店舗数は微減したものの売上は、5,499 万円で対前年度比 104%と延ばしている。賑わいイベントについて、小倉イルミネーションの開催を 1 か月延長し、各種イベントとの連携強化を図った。</p> <p>また、令和 4 年度から新たに以下の 2 事業を受託した。</p> <p>2 小倉中央商業連合会事務局業務事業 小倉中央商業連合会の事務局として、総会や定期会議の運営、巨過地区火災への支援に伴う諸業務を実施した。</p> <p>3 キャッシュレス決済普及事業 電子商品券「Paycha」の普及を図り、キャッシュレス決済の導入を促進した。</p>
収支状況の要点	当期純利益	8,759 千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 68,356 千円（前年度比 145,722 千円減） （前年度 214,078 千円） ・経常利益 5,139 千円（前年度比 6,286 千円減） （前年度経常利益 11,425 千円） ・当期純利益 4,393 千円（前年度比 4,366 千円減） （前年度当期純利益 8,759 千円）
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度末の繰越利益剰余金 ▲8,003 千円
繰越利益剰余金		▲3,609 千円
株主総会 〔令和5年6月20日開催〕	監査報告	監査役 1 名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1) 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 号議案 第 18 期事業報告及び決算案承認の件 ・ 第 2 号議案 取締役の選任の件

(令和5年3月31日現在)

北九州まちづくり応援団株式会社

令和4年度 経営状況報告

令和5年8月17日
産 業 経 済 局

【1号議案】

第18期 令和4年度事業報告書（案）

〔 自：令和4年4月01日 〕
〔 至：令和5年3月31日 〕

活動の概要および成果

第18期(令和4年度)の事業活動ですが、昨年までの北九州市からの指定管理事業が無くなったことから事業規模を大きく縮小した上で、継続事業として

① 共通駐車券事業、②賑わいイベント事務局事業に加え、新たに北九州商工会議所から委託業務である③小倉中央商業連合会事務局業務事業、④電子商品券「Paycya」の普及事業に取り組むことで、業績改善を図ってまいりました。

① 共通駐車券事業

売上：5499万円（対前比104%）

契約駐車場20箇所（前年-1）、契約店舗数70店（前年-1）

②賑わいイベント事務局事業

小倉イルミネーション開催（11/4～2/14）

開催期間を1カ月延長し、開催期間中に各種イベントとの連携を強化

③小倉中央商業連合会事務局業務事業

総会、定期会議の運営（2回/月、計24回）

且過火災支援に伴う、諸雑務

にぎわい商品券、十日ゑびす祭りに関する事務業務等

④電子商品券「Paycya」の普及事業

参加店舗拡大に関する業務および関連アンケート調査等

その結果、売上高は6,835万円となり大きく減少したもの、令和4年度の指定管理事業を除けば、対前年120%の増収となりました。

利益の方は経費削減効果もあり、商品及び貯蔵品在庫（不活動）68万を解消の上、経常利益は黒字の514万円(対予算+332万円)、最終の当期純利益は黒字の439万円(対予算+288万円)となりました。

決 算 報 告 書

(第 18 期)

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

北九州まちづくり応援団 株式会社

福岡県北九州市小倉北区紺屋町13番1号
毎日西部会館4階

貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

令和 5年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 33,559,748】	【流動負債】	【 5,835,057】
現金	15,000	未払費用	5,608,065
預金	21,686,648	未払法人税等	208,500
未収入金	7,102,100	預り金	18,492
未収消費税等	4,756,000	【固定負債】	【 1,250,000】
【固定資産】	【 1,915,394】	長期借入金	1,250,000
(有形固定資産)	(1,905,394)	負債合計	7,085,057
建物附属設備	1,421,194		
工具器具備品	484,200		
(投資その他の資産)	(10,000)	純資産の部	
出資金	10,000	【株主資本】	【 28,390,085】
		資本金	32,000,000
		(利益剰余金)	(43,609,915)
		その他利益剰余金	43,609,915
		繰越利益剰余金	43,609,915
		純資産合計	28,390,085
資産合計	35,475,142	負債・純資産合計	35,475,142

損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
事業収入金		68,356,732
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	598,984	
駐車場運営費	52,372,897	52,971,881
売上総利益金額		15,384,851
【販売費及び一般管理費】		11,646,094
営業利益金額		3,738,757
【営業外収益】		
受取利息	229	
雑収入	1,452,201	1,452,430
【営業外費用】		
支払利息割引料	1,211	
雑損失	50,094	51,305
経常利益金額		5,139,882
【特別損失】		
固定資産圧縮損		538,000
税引前当期純利益金額		4,601,882
法人税、住民税及び事業税		208,535
当期純利益金額		4,393,347

販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	4,551,101
雑 給	79,170
賞 与	375,000
法 定 福 利 費	579,716
福 利 厚 生 費	186,793
旅 費 交 通 費	8,072
通 信 費	341,855
交 際 費	13,637
減 価 償 却 費	204,583
賃 借 料	688,660
保 險 料	30,235
水 道 光 熱 費	766,771
消 耗 品 費	619,098
租 税 公 課	45,200
事 務 用 品 費	157,591
支 払 手 教 料	29,600
諸 会 費	215,280
会 議 費	12,762
保 守 点 検 費	115,500
地 代 家 賃	1,020,201
事 業 運 営 費	638,237
雑 費	967,032
合 計	11,646,094

株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他の利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	32,000,000	△8,003,262	△8,003,262	23,996,738	23,996,738
当期変動額					
当期純利益		4,393,347	4,393,347	4,393,347	4,393,347
当期変動額合計	-	4,393,347	4,393,347	4,393,347	4,393,347
当期末残高	32,000,000	△3,609,915	△3,609,915	28,390,085	28,390,085

個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額

883,106円

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

前期末株式数（発行済普通株式）

640株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

640株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

監 査 報 告 書

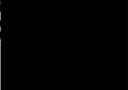
北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役 白川 敬 様

第 18 期事業年度(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日迄)の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。
その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

令和 5 年 6 月 1 日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役： 安田 堅太郎 

【2号議案】 取締役選任（案）について

(1)株主総会決議事項：取締役および監査役の選任（案）

氏名	生年月日		備考	
白川 敬		取締役	北九州商工会議所 副会頭	(留任)
小松 良明		取締役	小倉中央商業連合会 顧問	(留任)
池永 紳也		取締役	北九州市産業経済局 局長	(新任)
船津 章裕		取締役	北九州商工会議所 担当部長	(留任)
今谷 繁樹		取締役	北九州まちづくり応援団(株) 本部長	(留任)
安田 堅太郎		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長	(留任)

※田中規雄取締役は、第18回株主総会をもって退任。

・取締役の任期期間

自 第17回定時株主総会終結時 (令和4年6月29日)
 至 第19回定時株主総会終結時 (令和6年6月末予定)

・監査役の任期期間

自 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月25日)
 至 第19回定時株主総会終結時 (令和6年6月末予定)

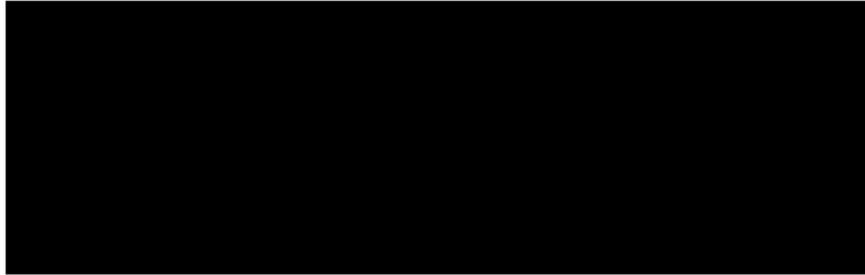
【プロフィール】

池永 紳也 (いけなが しんや)

・生年月日



・略 歴



現在に至る

令和4年3月31日現在

会社の概要

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

(2) 事業所

本社

- ・北九州市小倉北区紺屋町13-1

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 17名

(4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
株式会社井筒屋	80株	400万円
北九州商工会議所	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
APAMAN株式会社	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

(参考資料)

(5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
白川敬		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
二郎丸聡夫		取締役	北九州商工会議所 理事・事務局長
小松良明		取締役	小倉中央商業連合会 理事長
田中規雄		取締役	北九州市 小倉北区長
船津章裕		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
安田堅太郎		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長